



2013年10月10日

おきぎん県内景況・確報 2013年8月

**-県内景況は、主要項目が底堅く推移しており拡大の動きがみられる-
2013年5月上方修正後、判断維持**

○個人消費関連

スーパー売上高・百貨店…スーパー売上高は「全店ベース」、「既存店ベース」ともに前年同月を上回る。
百貨店売上高も前年同月を上回る。
家電卸出荷額…太陽光パネル需要などにより前年同月を上回る。
新車販売台数…レンタカー需要や新商品(新車種、モデルチェンジ)需要などにより前年同月を上回る。

○建設関連

公共工事…公共工事請負金額は前年同月を下回る。
住宅投資・建設資材…着工戸数、生コン、セメントすべてにおいて前年同月を上回る。

○観光関連

入域観光客数…11ヵ月連続で前年同月を上回る。
主要大型ホテル稼働率…シティホテル、リゾート、ビジネスすべてにおいて前年同月を上回る。
観光施設入場者数…10ヵ月連続で前年同月を上回る。

○倒産・雇用

企業倒産…件数、負債総額とも前年同月を上回る。
有効求人倍率…前月より上昇。

○生産関連

鉱工業生産(7月)…前月より下落。
大口電力使用量…前年同月を上回る。

○物価関連…消費者物価指数は前年同月を上回り、ガソリン(レギュラー、軽油)価格も上回る。

現場主義とお客様からの信頼

※お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

(株)おきぎん経済研究所

TEL:098-869-8711 FAX:098-869-2200

おきぎん県内景況・確報(2013年8月分)

◎2013年8月 おきぎん「カトレア」景況図



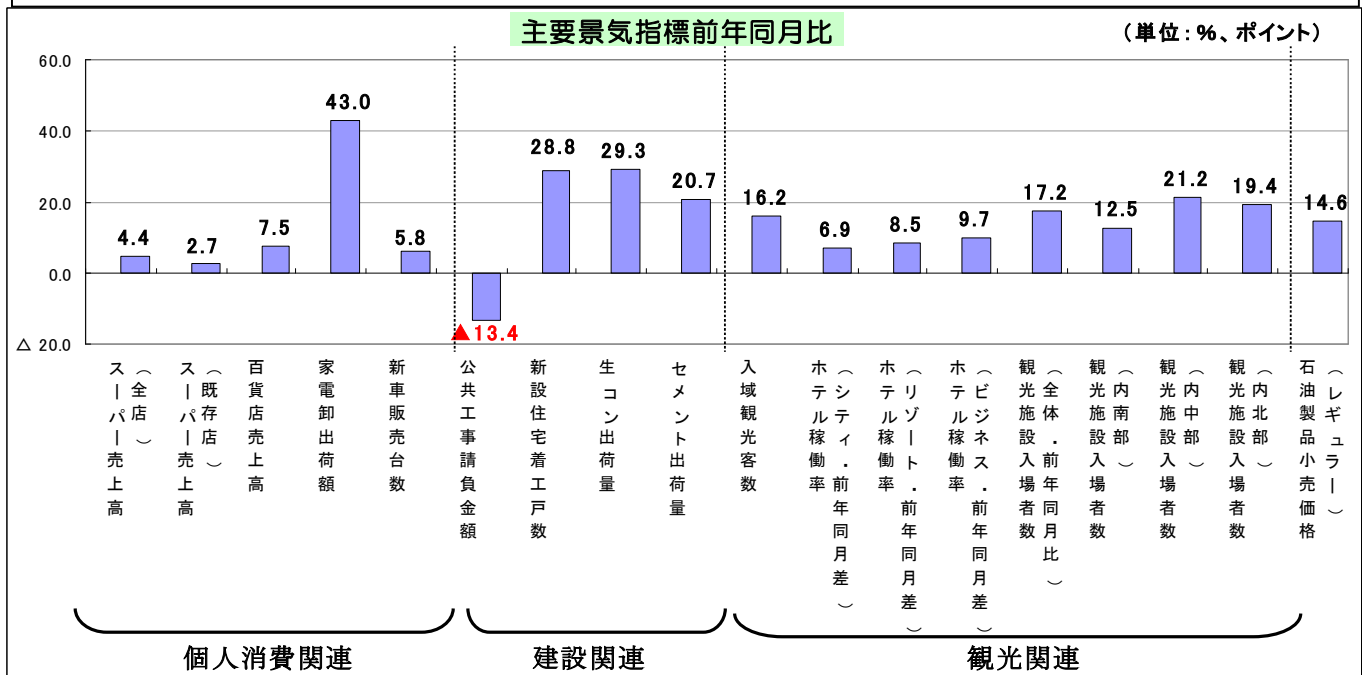
◎概況： 県内景況は、主要項目が底堅く推移しており拡大の動きがみられる。

8月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は「全店ベース」「既存店ベース」ともに前年同月を上回りました。百貨店売上高は衣料品や身の回り品などが好調で前年同月を上回りました。耐久消費財である家電卸出荷額は太陽光パネル需要などにより前年同月を上回り、新車販売台数もレンタカー需要や新商品（新車種、モデルチェンジ等）需要などにより前年同月を上回りました。

建設関連では、公共工事請負金額は沖縄県や国発注による工事減少等から前年同月を下回りました。新設住宅着工戸数は前年同月を上回り、建設資材である生コン、セメントもともに上回りました。

観光関連では、入域観光客数は11ヵ月連続で前年同月を上回りました。ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテル全てにおいて前年同月を上回りました。観光施設入場者数は前年同月を上回りました。

このような状況に鑑みると、「県内景況は、主要項目が底堅く推移しており拡大の動きがみられる」と景気判断を据え置きました。(2013年5月に上方修正)





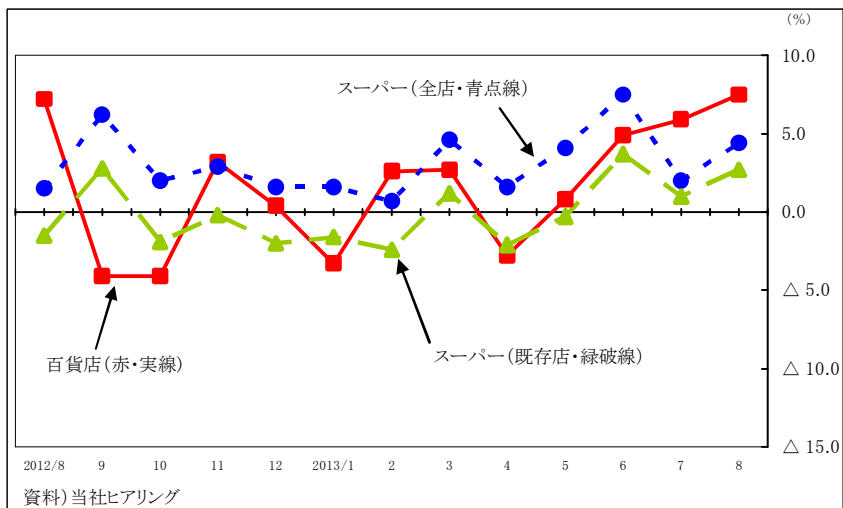
■個人消費： (やや良い)

①スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月上回る。百貨店売上高も前年同月上回る。

単位：%

	スーパー売上額		百貨店
	全店	既存店	売上額
2012/8	1.5	△ 1.5	7.2
9	6.2	2.8	△ 4.1
10	2.0	△ 1.9	△ 4.1
11	2.9	△ 0.2	3.2
12	1.6	△ 2.0	0.4
2013/1	1.6	△ 1.6	△ 3.3
2	0.7	△ 2.4	2.6
3	4.6	1.2	2.7
4	1.6	△ 2.1	△ 2.8
5	4.1	△ 0.3	0.8
6	7.5	3.7	4.9
7	2.0	1.0	5.9
8	4.4	2.7	7.5

注)前年同月比



8月の個人消費関連では、**スーパー売上高**は、「全店ベース(前年同月 4.4%増)」が13ヵ月連続で前年同月上回りました。新規店舗の出店効果に加え、昨年よりも台風襲来の影響が今年は少なかったことなどから、ウエイトの高い「食料品(同 3.5%増)」、「衣料品(同 14.4%増)」、「家庭用品(同 5.6%増)」が前年同月上回りました。

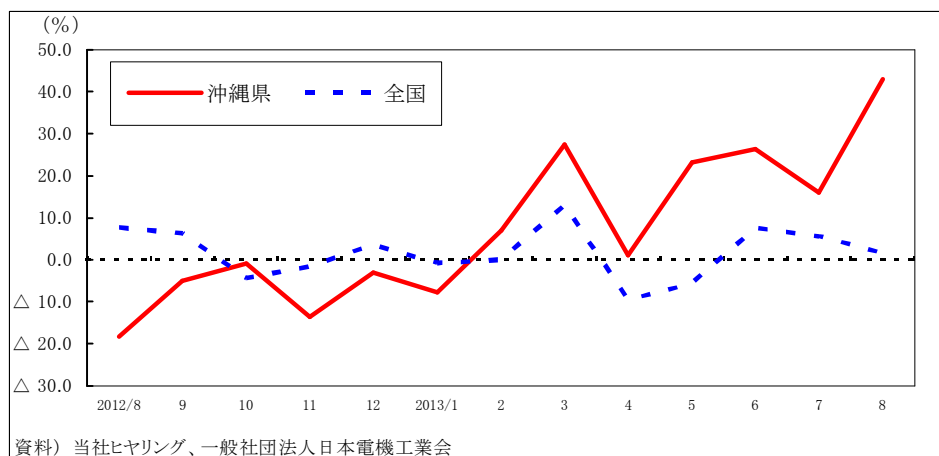
「既存店ベース(同 2.7%増)」では3ヵ月連続で前年同月上回りました。品目別でみると、ウエイトの高い「食料品(同 1.2%増)」は、昨年に比べ台風襲来の影響(臨時休業、営業時間短縮、来店客数減少等)が今年は少なかったことなどから売上げが堅調に推移し、前年同月上回りました。「衣料品(同 14.3%増)」は、昨年よりも台風の影響が少なかったことに加え、気温も高かったことなどから夏物衣料の売れ行きが好調で前年同月上回りました。家電を含む「家庭用品(同 5.9%増)」も、エアコンや冷蔵庫などの白物家電の売上げが好調で前年同月上回りました。

百貨店売上高は、衣料品や身の回り品などの売れ行きが好調で、4ヵ月連続で前年同月上回りました(同 7.5%増)。内訳をみると、ウエイトの高い「衣料品(同 17.8%増)」は、昨年に比べ台風襲来の影響(臨時休業、営業時間短縮、来店客数減少等)が今年は少なかったことなどから「婦人服(同 15.7%増)」や「紳士服(同 10.7%増)」、「子供服(同 0.6%増)」の売上が好調に推移し、前年同月上回りました。「身の回り品(同 24.1%増)」や「雑貨(同 11.1%増)」も販促効果(広告強化、セール回数数の増加)などにより前年同月上回りました。一方、「食料品(同 2.1%減)」は、旧盆の時期が昨年(8/30-9/1)に比べ今年(8/19-8/21)は早く、お中元ギフト商品需要が7月と8月に分散したことなどから、前年同月を下回りました。

②家電卸出荷額…太陽光パネル需要などにより前年同月を上回る。

単位:%

	沖縄県	全国
2012/8	△ 18.3	7.7
9	△ 5.0	6.3
10	△ 1.0	△ 4.4
11	△ 13.6	△ 1.5
12	△ 3.0	3.5
2013/1	△ 7.8	△ 0.8
2	7.0	0.0
3	27.5	13.0
4	1.1	△ 9.6
5	23.2	△ 5.7
6	26.3	7.6
7	15.9	5.6
8	43.0	1.6



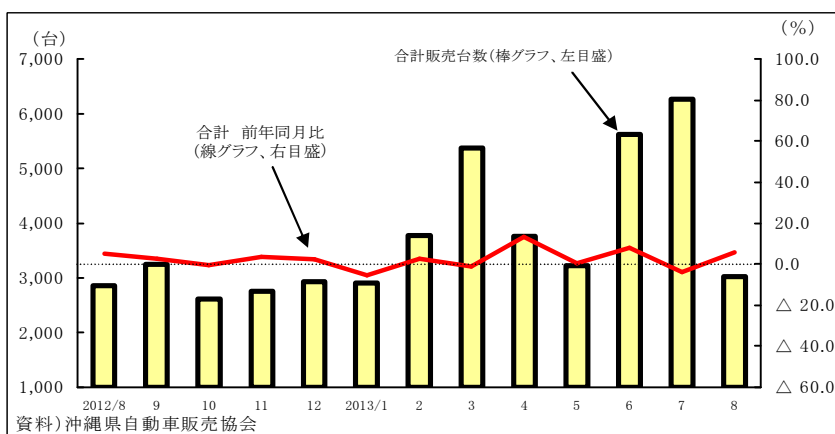
注)前年同月比

家電卸出荷額は、継続的な太陽光パネル需要などにより、7ヵ月連続で前年同月を上回りました(同43.0%増)。品目別でみると、「太陽光パネル(同75.7%増)」は、2012年7月1日にスタートした「再生可能エネルギーの固定買取価格制度」の影響などにより需要が増加し、前年同月を上回りました。「エアコン(同70.4%増)」は、晴天日が多く気温が高かったことなどから需要が堅調に推移し、前年同月を上回りました。「冷蔵庫(同22.5%増)」や「洗濯機(同4.9%増)」も前年同月を上回りました。また、アナログ放送終了(2011年7月24日)以降、需要低迷が続いていた「テレビ(同6.5%増)」も25ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。

③新車販売台数…レンタカー需要や新商品(新車種、モデルチェンジ等)需要などにより小型乗用車、軽乗用車の売上が堅調に推移し、前年同月を上回る。

単位:台、%

	台数	合計	普通乗用車	小型乗用車	軽乗用車
2012/8	2,856	5.3	12.9	△ 12.9	24.3
9	3,248	2.7	△ 12.2	△ 12.8	13.9
10	2,613	△ 0.5	△ 27.5	△ 10.6	11.0
11	2,753	3.6	△ 12.7	14.7	3.8
12	2,925	2.5	△ 5.6	2.6	4.1
2013/1	2,902	△ 5.5	△ 25.2	△ 20.7	5.8
2	3,776	2.6	7.4	6.6	2.7
3	5,377	△ 1.1	△ 7.9	△ 6.4	4.5
4	3,763	13.2	△ 7.6	30.2	8.7
5	3,217	0.5	13.2	△ 3.8	△ 2.0
6	5,620	7.8	30.9	27.0	△ 13.4
7	6,267	△ 3.7	△ 7.8	△ 2.4	△ 9.2
8	3,023	5.8	△ 14.3	2.5	6.6



注)前年同月比

注)普通乗用車及び小型乗用車は登録車、軽乗用車は届出車の数値を表示。

新車販売台数は、全体で3,023台となり、2ヵ月ぶりに前年同月を上回りました(同5.8%増)。車種別でみると、エコカー補助金制度終了(2012年9月21日)の影響などにより「普通乗用車(同14.3%減)」が2ヵ月連続で前年同月を下回りました。一方、「小型乗用車(同2.5%増)」は、レンタカー需要などにより2ヵ月ぶりに前年同月を上回り、「軽乗用車(同6.6%増)」も新商品(新車種、モデルチェンジ等)の需要が堅調に推移したことなどから4ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。

※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。

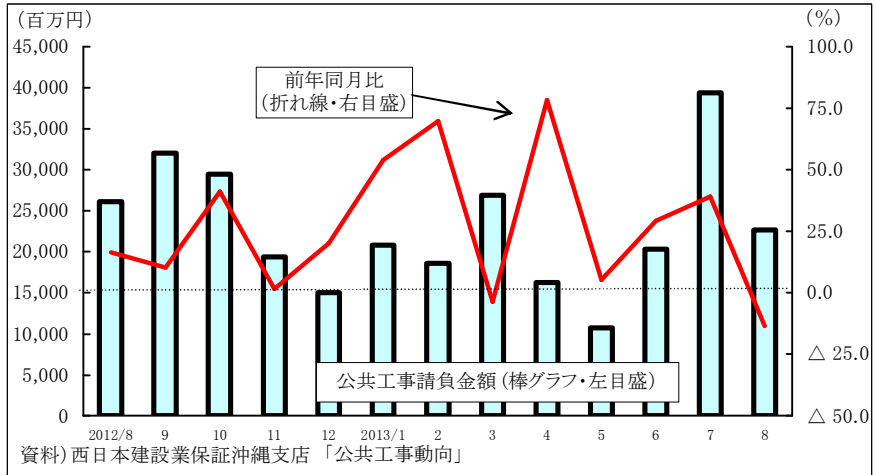


■ 建設関連: (やや良い)

①公共工事…公共工事請負金額は前年同月を下回る。

単位:百万円、%

	請負金額	前年同月比
2012/8	26,136	16.6
9	31,974	10.2
10	29,432	41.3
11	19,400	1.7
12	14,996	20.2
2013/1	20,766	54.0
2	18,588	69.6
3	26,905	△3.6
4	16,255	78.3
5	10,742	5.3
6	20,318	29.2
7	39,391	39.0
8	22,626	△13.4

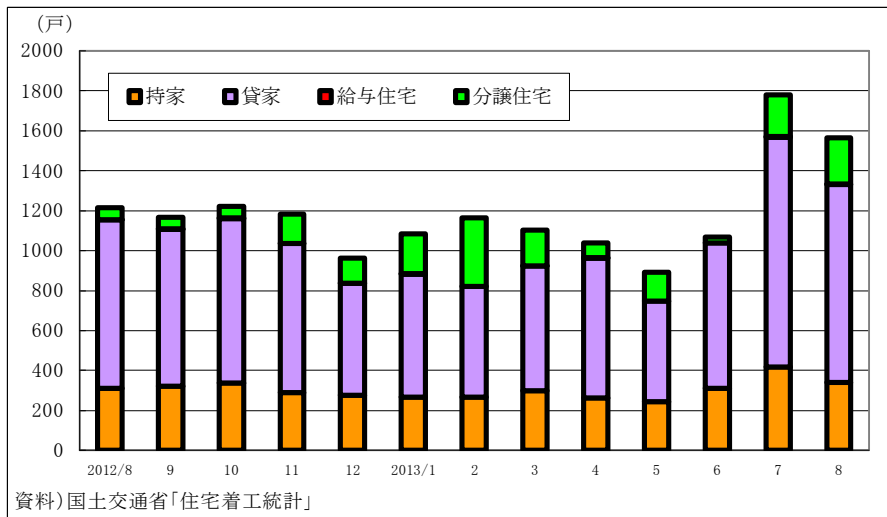


8月の公共工事請負金額は、前年同月比13.4%減の226億2,600万円となりました(5ヵ月ぶり減)。発注者別でみると、「市町村(同15.4%増)」や「その他の公共的団体(同12.9%増)」が前年同月を上回っているものの、「国(同35.0%減)」は昨年の高架橋関連工事、「沖縄県(同28.4%減)」は新石川浄水場関連工事などの反動、「独立行政法人等(同62.6%減)」も前年同月を下回りました。

②住宅投資・建設資材…着工戸数、生コン、セメントのすべてで前年同月を上回る。

単位:戸、%

	着工戸数	前年同月比
2012/8	1,215	14.5
9	1,168	29.3
10	1,223	19.9
11	1,184	11.7
12	961	4.5
2013/1	1,083	9.1
2	1,162	62.5
3	1,103	51.1
4	1,041	△2.0
5	893	△23.3
6	1,068	11.9
7	1,777	32.2
8	1,565	28.8



8月の新設住宅着工戸数は、全体で前年同月比28.8%増の1,565戸と3ヵ月連続で前年同月を上回りました。利用別戸数をみると、ウェイトの高い「貸家(同17.8%増)」や「持家(同9.3%増)」などが上回りました。建設資材関連では、生コンの出荷量は29.3%増加し、6ヵ月連続で前年同月を上回りました。内訳では、公共工事向け出荷が前年同月より46.6%増加し、民間工事向け出荷も22.9%増加しました。セメントの出荷量は20.7%増と5ヵ月連続で前年同月を上回りました。

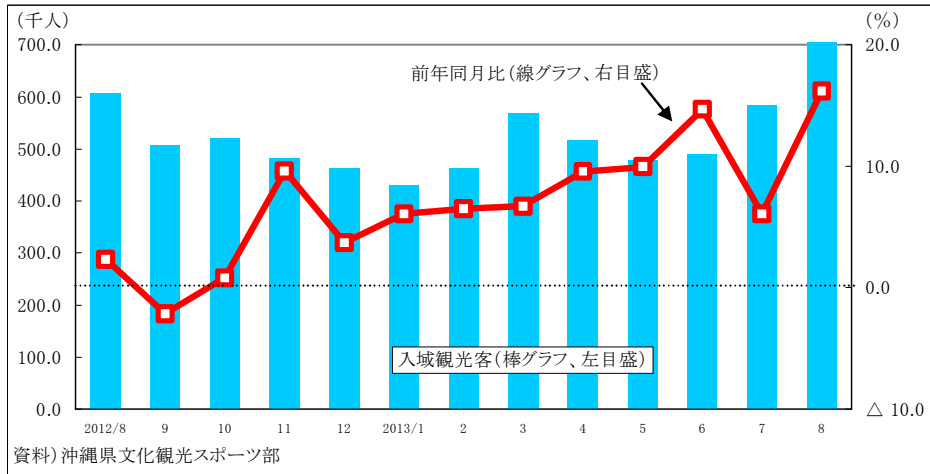


■観光関連： (良い)

①入域観光客数…11ヵ月連続で前年同月を上回る。

単位:千人、%

	入域観光客	前年同月比
2012/8	607.2	2.4
9	507.3	△2.1
10	519.7	0.8
11	483.1	9.6
12	463.4	3.7
2013/1	429.7	6.1
2	463.2	6.5
3	568.9	6.7
4	516.3	9.6
5	477.6	10.0
6	489.1	14.7
7	583.9	6.1
8	705.5	16.2



※外国客は特例上陸者数を含む

8月の入域観光客数は、前年同月より16.2%(98,300人増)多い705,500人となり、11ヵ月連続で前年同月を上回りました(単月としては初の70万人越え)。内訳をみると、「国内客(同14.8%増)」は旅行マインドの回復、新石垣空港の開港効果などから前年同月を上回りました(11ヵ月連続)。主要路線別でみると、「関西方面(同26.8%増)」が引続き前年同月を大きく上回り、他路線においても好調に推移しました。

他方、「外国客(同33.9%増)」は、60,400人(15,300人増)となりました。「中国本土(同53.6%減)」は前年同月に起こった尖閣問題以降減少が続く(12ヵ月連続)ものの、航空路線の拡充などから「台湾(同69.4%増)」「韓国(約3倍)」「香港(同28.8%増)」は前年同月を上回りました。

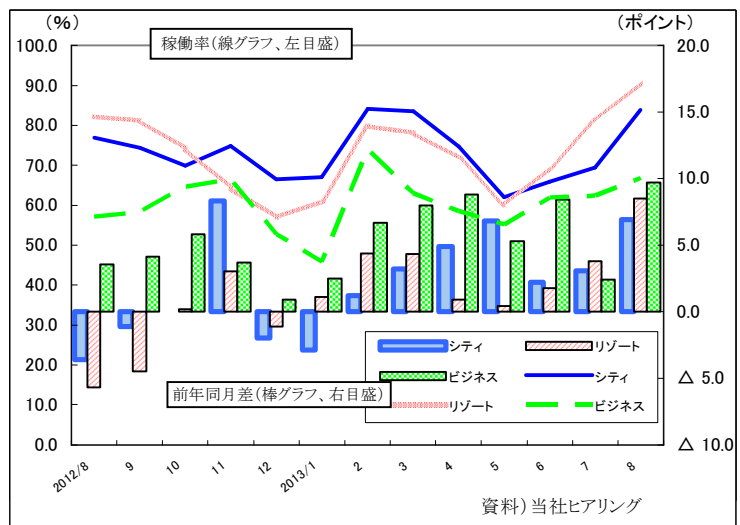
※ 2013年4月より外国客は特例上陸者を除いた数値も同時に公表。本表ではデータの連続性を勘案し特例上陸者数を含む数値を掲載。

特例上陸者を除く2013年8月実績=全体698,100人(同16.3%増)、外国客53,000人(同38.4%増)、国内客は変わらない。

②ホテル稼働率…シティホテル、リゾート、ビジネスすべてにおいて前年同月を上回る。

単位: %、ポイント

	稼働率			前年同月差		
	シティ	リゾート	ビジネス	シティ	リゾート	ビジネス
2012/8	76.9	82.2	57.1	△3.6	△5.7	3.6
9	74.4	81.2	58.4	△1.1	△4.5	4.1
10	69.9	74.2	64.7	0.0	0.2	5.8
11	74.9	64.3	66.4	8.3	3.0	3.7
12	66.6	56.9	52.7	△2.0	△1.1	0.9
2013/1	66.9	61.0	45.8	△2.9	1.1	2.5
2	84.1	79.8	74.0	1.2	4.4	6.7
3	83.5	78.1	63.0	3.2	4.3	7.9
4	74.6	71.9	58.5	4.9	0.9	8.8
5	62.0	60.0	55.2	6.8	0.4	5.3
6	65.9	69.3	61.9	2.2	1.8	8.4
7	69.4	81.2	62.4	3.1	3.8	2.4
8	83.8	90.7	66.8	6.9	8.5	9.7



注)シティ10ホテル、リゾート19ホテル、ビジネス7ホテル

※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

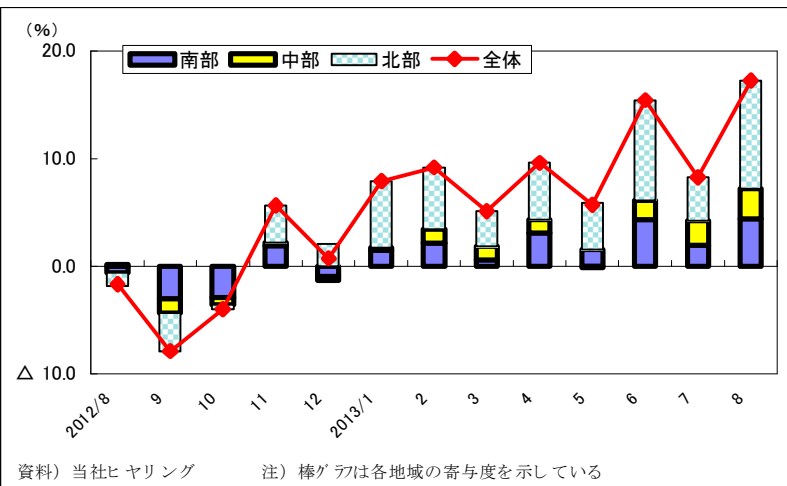
県内ホテル稼働率は、シティホテルが83.8%と6.9ポイント上昇(7ヵ月連続)、リゾートホテルが90.7%と8.5ポイント上昇(8ヵ月連続)、ビジネスホテルが66.8%と9.7ポイント上昇(18ヵ月連続)しました。

③観光施設入場者数…10ヵ月連続で前年同月を上回る。

単位: %

	入場者数(前年同月比)			
	全体	南部	中部	北部
2012/8	△1.7	△1.8	1.0	△2.3
9	△7.9	△8.5	△11.0	△6.8
10	△4.0	△6.7	△5.1	△1.0
11	5.6	4.3	2.0	8.3
12	0.7	△2.2	△2.6	4.9
2013/1	7.9	3.7	1.5	13.7
2	9.2	5.5	9.6	12.1
3	5.1	1.5	8.6	7.4
4	9.6	7.8	8.1	11.7
5	5.7	3.7	△1.1	9.7
6	15.4	10.6	14.5	19.9
7	8.2	5.9	18.6	7.5
8	17.2	12.5	21.2	19.4

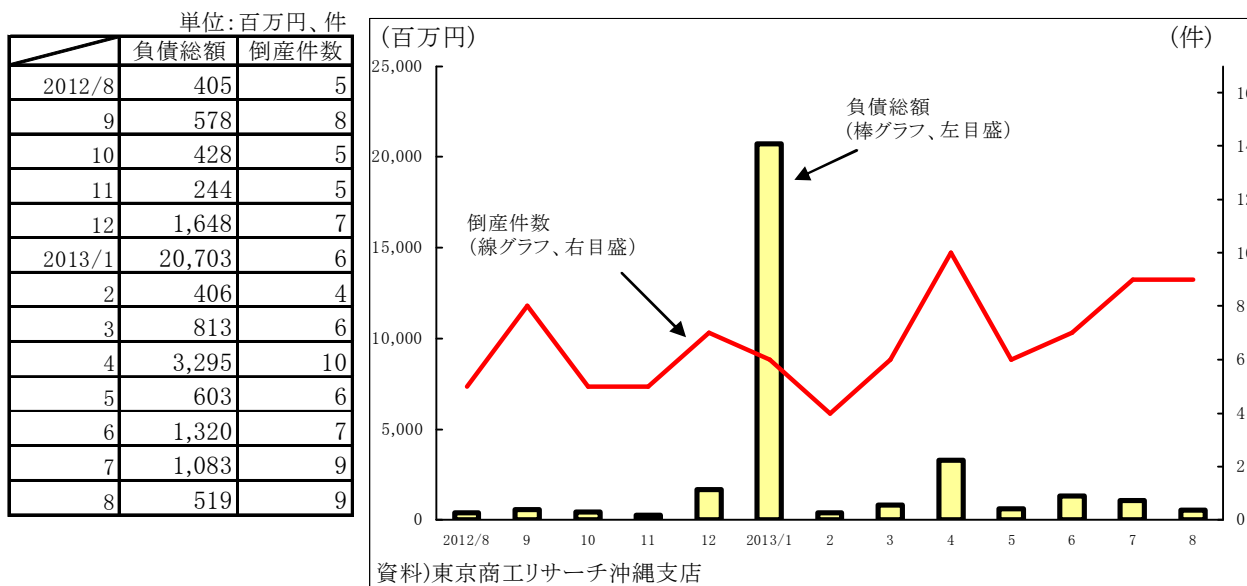
*調査対象施設数=南部6、中部6、北部5施設



観光施設入場者数は、全体で前年同月より17.2%増加(10ヵ月連続)しました。地域別にみると、南部にある観光施設は同12.5%増と8ヵ月連続、中部は同21.2%増と3ヵ月連続、北部は同19.4%増と10ヵ月連続で前年同月を上回りました。

■企業倒産:  (ふつう)

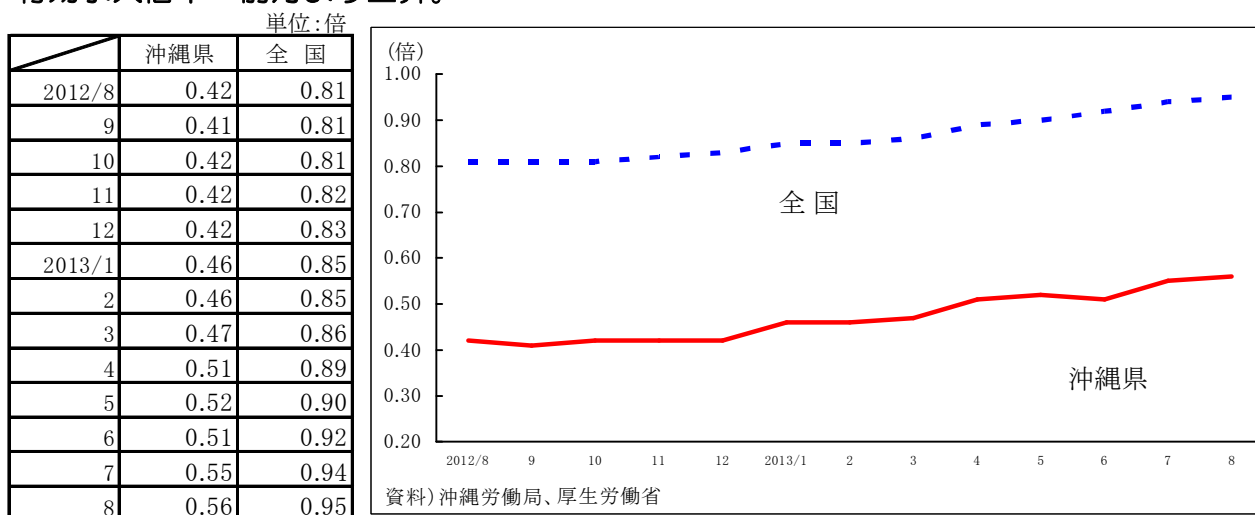
企業倒産…件数、負債総額ともに前年同月を上回る。



8月の**企業倒産件数**は、9件(うち、10億円以上の大型倒産が0件、1億円以上の大口倒産3件)発生し前年同月より4件多くなりました。負債総額は5億1,900万円と前年同月より28.1%増加しました。


■雇用関連:  (ふつう)

有効求人倍率…前月より上昇。



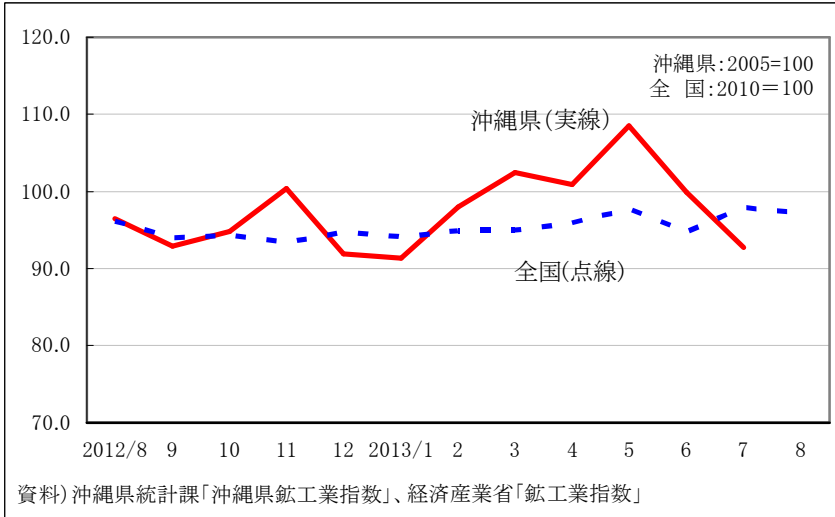
注) 季節調整済
注) 季節調整法は、センサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による

8月の**雇用状況**は、月間有効求人数(季節調整値)は前月比1.8%増の17,932人に対して、月間有効求職者数(同上)は同0.1%増の32,108人となり、有効求人倍率(季節調整値)は0.56倍と前月より0.01ポイント上昇しました。完全失業率(原数値)は前年同月より0.3ポイント上昇し、6.6%となりました。

■ 鉱工業・大口電力関連:  (ふつう)

① 鉱工業生産指数…前月より下落。

	沖縄県	全国
2012/8	96.5	96.1
9	92.9	94.0
10	94.8	94.3
11	100.4	93.4
12	91.9	94.7
2013/1	91.3	94.1
2	98.0	94.9
3	102.5	95.0
4	100.9	95.9
5	108.5	97.7
6	99.9	94.7
7	92.7	97.9
8	-	P 97.2



注1) 数値は季節調整済指数

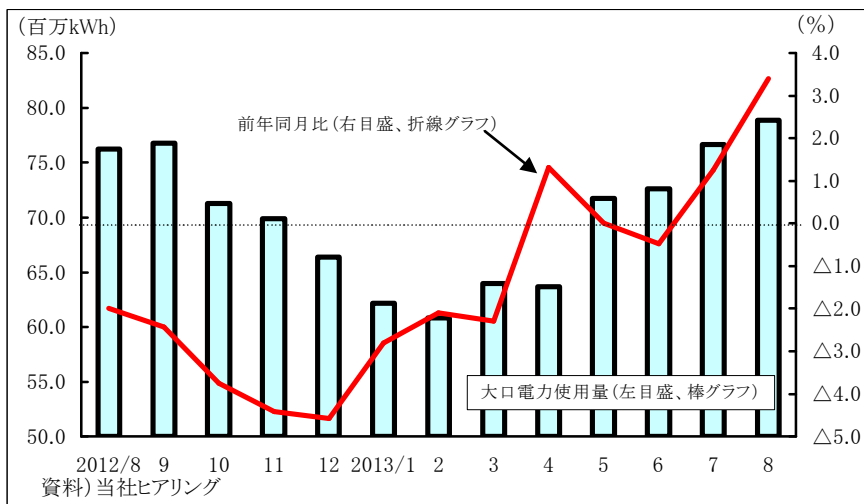
注2) 基準は「2005年=100(沖縄県)」、「2010年=100(全国)」となっている。

鉱工業生産指数(県内:7月)は、前月より7.2%下落し、92.7となりました。産業別にみると、「石油製品工業(同 80.0%減)」や「化学工業(同 6.5%減)」等の業種で前月を下回りました。

② 大口電力使用量…前年同月を上回る。

単位: 百万kWh、%

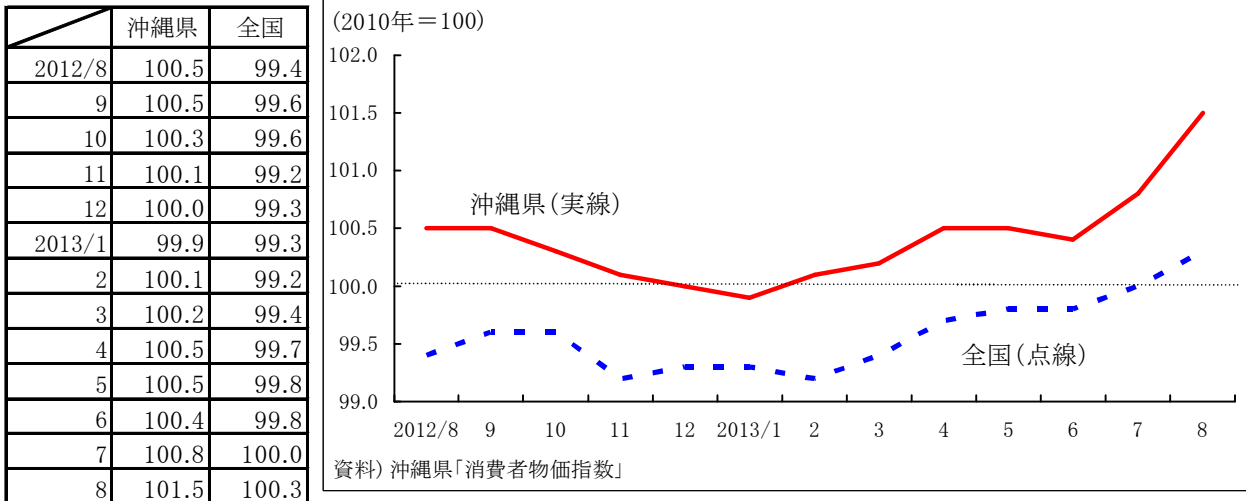
	大口電力 使用量	前年 同月比
2012/8	76.3	△2.0
9	76.8	△2.4
10	71.3	△3.7
11	69.9	△4.4
12	66.4	△4.6
2013/1	62.2	△2.8
2	60.8	△2.1
3	64.0	△2.3
4	63.7	1.3
5	71.7	0.0
6	72.6	△0.5
7	76.6	1.3
8	78.9	3.4



8月の大口電力使用量は、「鉄鋼製造業(同 34.4%増)」が生産量の増加などで全体を押し上げ、全体で3.4%前年同月を上回りました。

■物価関連:  (ふつう)

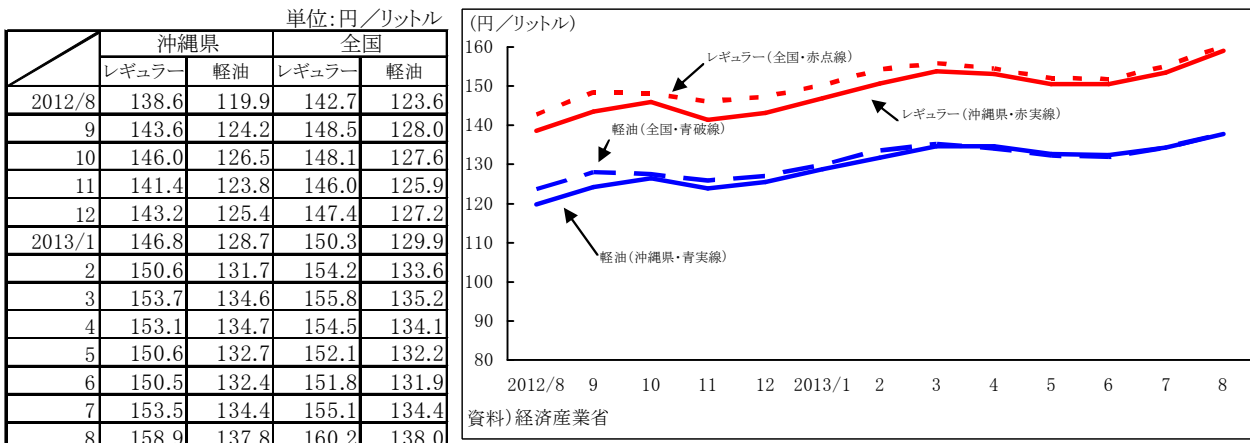
①消費者物価指数…前年同月を上回る。



注) 基準年変更(2005→2010)に伴い、当データも改訂を行っている。

8月の消費者物価指数(総合)は、前年同月比1.0%上昇し、101.5となりました。内訳をみると、「住居(同0.5%減)」が下落したものの、自動車等関係費を含む「交通・通信(同3.4%増)」や穀類を含む「食料(同1.6%増)」や等が全体を押し上げました。

②ガソリン小売価格…前年同月を上回る。



注) 各月次データは、週次調査結果の平均値を用いている。

8月のガソリン小売価格等において、県内におけるレギュラー小売価格は前年同月より14.6%(消費税込価格)上昇し、軽油小売価格も前年同月より14.9%(消費税込価格)上昇しました。